

教材・資料編

1 授業プリント

第一次世界大戦の特徴

A：帝国主義戦争

帝国主義とは、産業革命の結果、国内の市場のみならず、海外の市場の獲得を目指して植民地を増やしていく体制である。帝国主義の国家は、イギリス・フランス・ロシア・イタリア・日本など、「列強」と呼ばれた国がそれにあたる。

その中で、ドイツ・イタリア・オーストリアの三国同盟とイギリス・フランス・ロシアの三国協定の勢力が激しく衝突し、サラエボ事件をきっかけにして大規模な戦争になっていった。

そのさなかでは、イギリス植民地インドなども参加することになり、戦場はヨーロッパであるが、関係国家は、世界規模となった。

B：総力戦

総力戦とは、兵士だけでなく、兵士でない人々も戦争に巻き込まれていく体制のことである。

第一次世界大戦では、戦争に出兵する兵士が多く労働力が足りなくなったため、女性の社会進出が進むなど、さまざまな影響があった。

もはや、戦争とは兵士だけがおこなうものではなくなった。国を挙げて、物資を補給し、情報を集め、戦闘に行く体制になったのである。

C：グローバル化

グローバル化とは、交通手段や通信手段の発達により、地球規模での交流が可能になってきている現象のことである。アジア・ヨーロッパ・アフリカ・アメリカのどこにでも行くことができるし、また、同じことを知っているために、商業・工業・政治などがこれまでになく密接につながるようになってきた。そのため、一国の判断が他国に及ぼす影響も、以前とは比べ物にならない。

第二次世界大戦の特徴

A：世界恐慌などの経済的事情

私は、大多数のイギリス人と同様に、自由貿易を・・・尊重するように育てられてきた。・・・とはいえ、私の心境は変わっているし、他にも多数の人たちにこの変化が起こっている。・・・だから私は、諸国家の経済的な争いを小さくしようとする人たちに共感をおぼえる・・・私は、1914年当時よりもより一国自給自足を進め、諸国家間が経済的に孤立するほうが平和に近づくのではないかと思っている。

(ケインズ：New statesman and nation 誌の論文より抜粋・訳)

世界恐慌後のブロック経済によって、各国が貿易をやめることによって結果的に「国家間の争い」が少なくなり、平和になるという意見である。この意見に反論しながら、経済的事情が第二次世界大戦につながったことについて説明せよ。

B：ファシズム体制

私たちは、ヒトラーの語っていることは、一種の力強さについてだと確信しました。彼は強さについて語っていた。1933年以降、子供たちを大勢もてるようになり、未来が開けました。貧富の差がちぎりました。どこでもそれがわかりました。チャンスが与えられたのです・・・体制が民主主義だろうと、独裁だろうと、何だろうと発展には関係なかったですね。政府の形態にも無関係でしたよ。少しでも金とチャンスがあれば、どんな政治体制か、だれも注意しませんでした。・・・どの国でも、どんな時代でも、そんなふうなものです。
(教科書p178 資料より)

ヒトラーに対する意見である。この中では、ファシズムの体制が受け入れられたのは、国内経済を発展させたからだと言われている。これを踏まえて、ファシズム体制がどのように第二次世界大戦に結びついていったのか説明せよ。

C：ヴェルサイユ条約やミュンヘン会談、独ソ不可侵条約など外交的事情

ヴェルサイユ条約の内容

- 1 海外植民地の他、アルザス・ロレーヌを失う
- 2 軍備の縮小
- 3 巨額の賠償金の支払い
- 4 東ヨーロッパ諸国の独立
- 5 国際平和機構の設立

ミュンヘン会談の内容

- 1 参加国は、イタリア・イギリス・フランス・ドイツ
- 2 ズデーテン地方からチェコスロヴァキア軍の退去を行う。
- 3 ズデーテン地方の帰属は人民投票で決定する。
- 4 ヒトラーは戦争を延期することを発表し、その結果ニューヨーク株式市場が値上がりした。

第一次世界大戦が終了した後、国際連盟の設立や、平和条約の締結など、戦争を起こさないための外交的な動きが多くあった。それにも関わらず、外交が第二次世界大戦に結びついたことを考えよ。

2 板書計画

Q1 WWI → WWII へ向けて世界は (【問①】)
良くなった 変わらない 悪くなった

Q2 WWIの特徴 (【問②】)

(例)
帝国主義戦争 → 植民地がなければ世界大戦にはならなかった。

Q3 WWIIの特徴 (【問③】)

(例)
世界恐慌 → 世界恐慌がなければファシズムは生まれなかった。

Q4 WWIとWWIIに共通すること (【問④】)

(例)
帝国主義戦争 → ファシズム体制で求めたものも、結局、植民地だった。

Q5 WWIを反省して行ったこと (【問⑤】)

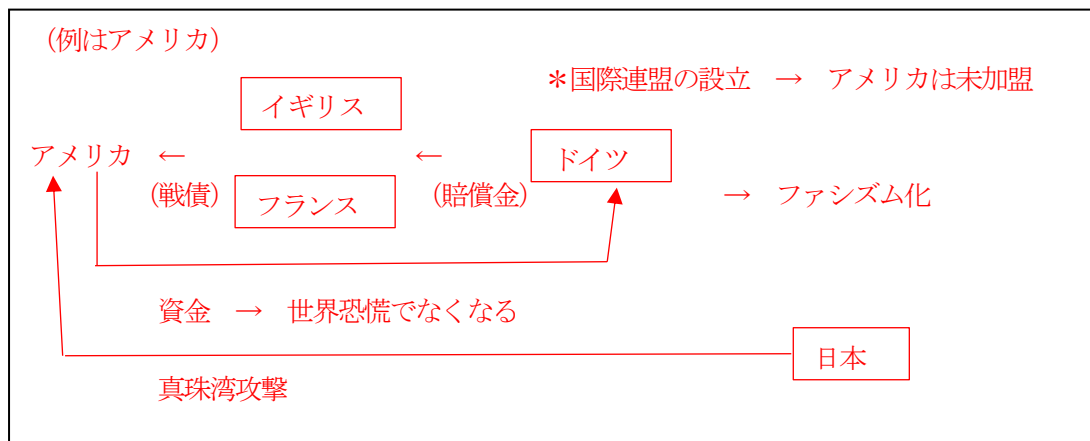
(例)
国際連盟 → 平和のための国際機構を作った。

3 生徒作成物例

(1) WWIからWWIIにかけての年表 (A4用紙) (【問⑥】)

(例はアメリカ)
1917 アメリカ、第一次世界大戦に参戦
1929 世界恐慌
1933 ニューディール政策実施
1941 日本軍、真珠湾を奇襲

(2) WWIからWWIIにかけての図 (A4用紙) (【問⑦】)



(3) WW I からWW II にかけての説明（ノート）

【振り返り】（例）

第一次世界大戦から、グローバル化が進み、世界中の国は経済がより密接に結びつくようになった。国際連盟の設立や、不戦条約など、国際的な平和への試みはされていたが、1929年に世界恐慌が起これると、各国はブロック経済政策を行い、特にドイツや日本、イタリアは経済状況が苦しくなり、ファシズム国家になっていった。国同士の関係は複雑に変化しており、対立していたドイツとソ連が独ソ不可侵条約を結ぶなど、暴力的な手段をとるファシズム国家を止めることはできなかった。そのため、第二次世界大戦が起こった。

4 ルーブリック

(1) **【問7】** 図の作成について **【多面的視点】**

S	第二次世界大戦の特徴について全て図示されている。
A	第二次世界大戦の特徴の一部が図示されている。
B	決めた国を中心にした関係図が示されている。
C	どの国についての関係図なのかがわからない。

(2) **【振り返り】** 第一次世界大戦から第二次世界大戦についての説明 **【広い歴史的視野】**

S	第一次世界大戦と第二次世界大戦のつながりについて説明できている。
A	第二次世界大戦の特徴について、全てを論理的に説明できている。
B	第二次世界大戦の特徴について、一部を論理的に説明できている。
C	第二次世界大戦の特徴について触れていない。

5 参考資料

『明解 世界史A』（岡崎勝世ら編 帝国書院）

『世界史資料 下』（青木孝寿ら編 東京法令出版）